

# 淀川水系流域委員会 第26回琵琶湖部会（2003.9.24開催）結果概要

03.10.7 庶務作成

開催日時：2003年9月24日（月） 13：30～16：30

場 所：大津プリンスホテル 2階 コンベンションホール「淡海6」

参加者数：委員10名、他部会委員1名、河川管理者14名、一般傍聴者79名

## 1 決定事項

- ・次回部会は、10月23日（木）13時または13時半より開催を予定する。次回運営会議（9/27開催）で審議の状況を確認した上で開催を決定する。
- ・琵琶湖部会としてのとりまとめは、本日の議論を受けて中村リーダーが修正した後、部会委員へ送付し意見を提出してもらう。
- ・整備内容シートへの意見については、検討すべき部分の分担を決定し、中村リーダーより委員へ連絡する。

## 2 審議の概要

委員会、他部会および作業部会の開催状況等の報告

資料1「委員会および各部会の状況報告（提言とりまとめ以降）」を用いて、委員会、各部会、意見書とりまとめの作業部会の状況等について説明が行われた。

意見書とりまとめに向けた意見交換

）意見書について

意見書の構成や意見書とりまとめの進捗状況等について、意見書とりまとめ作業部会リーダーである今本委員より説明があり、その後意見交換が行われた。主な意見は「3 主な意見」を参照。

）琵琶湖部会とりまとめ素案についての意見交換

主に資料2「琵琶湖部会とりまとめ素案（概要）」を用いて意見交換が行われ、琵琶湖部会のとりまとめについては、概ねこれでよいことが確認された上で、上記「1 決定事項」の通り決定した。なお、体裁や構成の変更については、次回運営会議の結果を待って、必要に応じて修正することとなった。主な意見については「3 主な意見」を参照。

一般意見聴取試行の会の報告

資料3「一般意見聴取試行の会の報告」をもとに、これまで3回開催された一般意見聴取試行の会（テーマ：これからの琵琶湖と川とダムを考える若者討論会）について、会の概要や出された意見、成果や課題等について報告がなされた。主な意見については「3 主な意見」を参照。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者1名から発言があった。主な意見については「3 主な意見」を参照。

### 3 主な意見

#### 意見書とりまとめに向けた意見交換

##### ) 意見書について

- ・作業部会では、現在、整備計画基礎原案の1章から4章の“河川整備計画の考え方や方針”にあたる部分に対する意見書をつくる作業をしている。まだ運営会議で承認を得る必要があるが、全委員に対しては、特に具体的な整備内容シートの検討を依頼したいと考えており、例えば、琵琶湖部会に関連する部分については、琵琶湖部会でまとめていただきたい。地域別部会やテーマ別部会の部分については、できるだけ構成等はそろえたいが、各部会の独自性もあるので、多くを部会に任せたいと考えている。(作業部会リーダー)

最終的なとりまとめの段階になって慌ててまとめるようなことはしたくないので、日程についても運営会議等で十分検討してほしい。

- ・運営会議と庶務で意見書とりまとめのための意見の集約の仕方を整理し、最終的な仕上がりをイメージした具体的な形で指示をしてほしい。

意見を求められた委員が混乱しないようにする必要がある。また、河川管理者にも一般の方にも流域委員会の見解が分かるような整理の仕方をすべき。

9月27日の運営会議で了承が得られれば、明確に方針を出せるだろう。(作業部会リーダー)

- ・意見書の構成は、 が骨子、 が整備内容シートについての意見、 が部会ごとの意見取りまとめということだが、 が具体的な中身になるので と を入れ替えてはどうか。
- ・基礎原案に対する意見書は、第2稿までのような修正等の要望の形ではなく、委員会としての判断や意見を公式に述べる形になる。(部会長)

##### ) 琵琶湖部会とりまとめ素案についての意見交換

- ・意見書の主旨に合わせて、評価できるところは評価し、指摘すべきところはきちんと指摘するような形に書き直す必要がある。
- ・部会のとりまとめに関しては琵琶湖部会が最も先行しており、内容についても一つの模範となり得る。これはこれで良いのでは？(作業部会リーダー)
- ・最新の情報に基づいて修正することと、数字と記号の扱いがばらばらなのでフォーマットを統一して整理することが必要。
- ・琵琶湖部会は治水の部分が少ないので、充実する必要があるがどうすればいいか。

琵琶湖周辺で問題になっていることについて治水部会でも検討するので、その検討結果を参考にしてほしい。(作業部会リーダー)

- ・部会のとりまとめで個別意見の添付部分(資料2の12ページ以降)の取り扱いはどうなるのか。

委員会の意見として一本化されるのであれば、部会の中でこのようなものを添付する必要はなくなる。

整備シートに関わる部分は、全て委員会の意見として一本化したいと考えているが、例えば琵琶湖部会に関連する部分は琵琶湖部会で原案をまとめていただき、それをもとに作業部会で全体の再調整を行う。委員会でまとめた意見書に「反対」という意見

を書くところは提言のような形で別に設けたいと思う。(作業部会リーダー)

資料2の22ページ以降は、整備内容シートについての意見の部分と、既にとりまとめ素案に取り入れられている部分、とりまとめに追加すべき部分が混在している。この部分については整理していただき、意見を出した委員もこの観点から見直して修正してもらってはどうか。(部会長)

<整備内容シートの検討について>

- ・整備内容シートの中身は「実施」と「検討」の2つに分かれる。「検討」については、このような検討も必要である、という言い方ができるが、「実施」の部分に関して、実施してよいという判断をどのようにしていくかを議論してはどうか。

部会では部会としての意見をまとめて、最終的な判断は委員会で行うことになる。まずは各委員ができるだけ意見を出すことが重要だと思う。出てきた意見に対する議論も委員会で行うことだろう。(部会長)

特に、「実施」とされている事業で実施すべきでないという意見は重要であり、理由を明確にして出してほしい。(作業部会リーダー)

- ・基礎原案に対応する新しい整備内容シートをまた一から見直している時間はない。既に第2稿の整備内容シートに対する意見は出されており、これを活用するためにも整備内容シートの第2稿と基礎原案の変更点の比較表が欲しい。

庶務にて、第2稿に出された意見を整理し基礎原案のシート番号にふり直して、意見が基礎原案に反映されているかが委員に分かるように示してほしい。(部会長)

番号の対応表は現在作成中である。庶務では意見がどの程度反映されているか等の判断まではできかねるが、シートが前回と同一である、あるいはここに図が挿入されている等の簡単なコメントをつける程度なら可能である。その作業をするなら、一週間位は見ていただきたい。(庶務)

整備内容シートの検討については、9/30までは各自の得意分野に関連する箇所の意見を提出し、30日以降にそれ以外の箇所への意見を提出してはどうか。30日の委員会で主に審議されるのは、整備内容シートについてではなくIの意見書の骨子の内容である。(作業部会リーダー)

- ・整備内容シートの琵琶湖に関わる部分で出てきた意見については、部会できちんと議論してから委員会に提出する必要がある。その整理は、琵琶湖部会のワーキンググループにお願いしたい。(部会長)

- ・整備内容シートの個々の内容については、複数の意見が出された上で集約されることが望ましいが、現状では意見の出ている箇所と出していない箇所に差が出ている。

琵琶湖部会としての意見をまとめるためには、出ている意見に対する意見もどんどん出して、議論して行くべき。(部会長)

<その他>

- ・琵琶湖部会で議論する内容は下流に影響するので、他部会からも琵琶湖部会の意見とりまとめ素案或いは整備の内容について意見をもらいたい。琵琶湖部会からそのような要望を出す、また、必要であれば10月に他部会と琵琶湖部会を合同開催する等考えられる。

直接意見を交わすことが必要なので、スケジュール的には厳しいができるだけそのよ

うな機会をつくりたい。（作業部会リーダー）

- ・ 大津放水路の2期事業について整備計画では実施とも検討とも記載されていないが、どのような判断をされて何も記載されていないのか。

基礎原案（4.3「治水・防災」）における治水の対策の優先順位として、破堤の回避・軽減、狭窄部上流の浸水対策、琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減、そして「一連区間整備の関連等」として、これ以外で現在かなり事業が進んでおり、完成間近であるものを完成させることを挙げている。大津放水路の1期事業については、この最後の項目に当てはまるが、2期事業に関してはこれらの優先項目のどれにも当てはまらないため、扱いが決まっていないので記載していない。2期事業が効果はないと言っているのでは決まてないが、限られた中での優先順位を考えた際に、直ちに実施という位置づけにはなっていないということだ。（河川管理者）

#### 一般意見聴取試行の会の報告

- ・ 3回取り組んだ中で、委員と発言者、また会場の参加者との議論もあり、今後の整備計画にも反映していけるような積極的な意見もあった。不十分な点については資料3の7ページにまとめているので、これらの点を参考にして今後活かしていただければ、いい討論集会をつくっていけるのではないかと感じた。
- ・ 若者の応募が少ないことが課題。若者の関心の低さはかなり深刻であること、若者に川や水に関心を持ってもらうことがいかに難しいかを感じた。もっと関心を持ってもらうことが重要。

#### 一般からの意見聴取

- ・ 本日議論された『琵琶湖部会とりまとめ素案』（資料2）は、メリハリがあり見解も明快でよくできている。他部会でも参考にさせていただいて、全体にわたってこのような格調高い意見書を出してほしい。

以上

議事内容の詳細については、「議事録」をご覧ください。最新の結果概要はホームページに掲載しております。